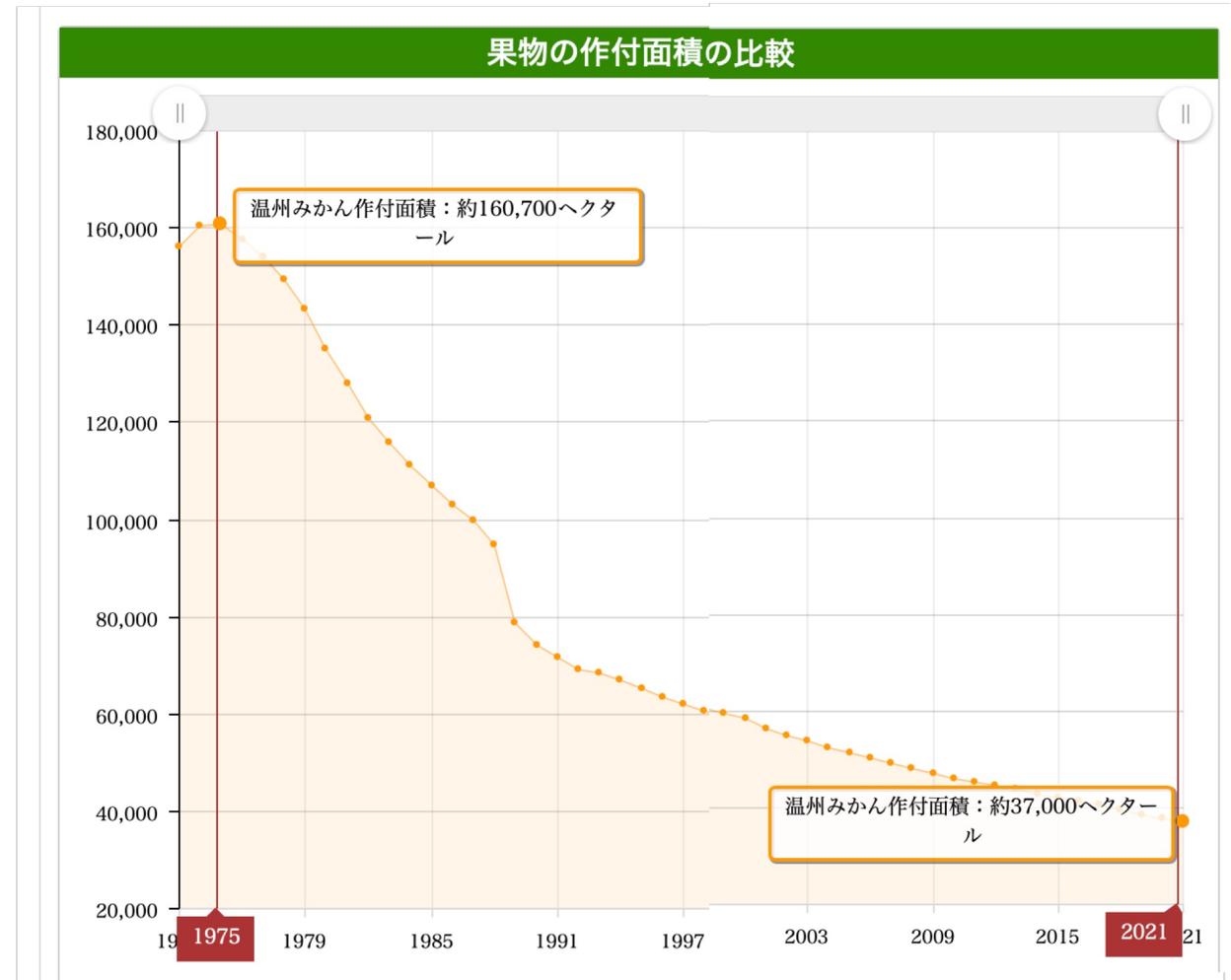


疲弊する産業に光を 株式会社ネイバーフッド



個人農家から、輸出No.1のみかん生産法人へ

株式会社ネイバーフッド。2019年法人設立。疲弊する産業に光を見出したい。



株式会社ネイバーフッド沿革

- ・ 1948年 祖父が農業を開始
- ・ 2011年 田中氏が帰郷、就農
- ・ 2014年 台湾塾をきっかけに台湾農業の研究をスタート
- ・ 2016年 みかんジュースの開発を開始。
- ・ 2019年 株式会社ネイバーフッド設立
台湾への輸出スタート
- ・ 2020年 日南市に輸出選果場設立
- ・ 2023年 台湾への直接貿易スタート
- ・ 2024年 輸出に取り組む優良事業者表彰
農林水産省局長賞受賞
- ・ 2026年 宮崎市に加工工場新設予定

台湾との農業交流



台日創生交流會 聆聽九州經驗，解鎖跨國精彩對談！

九州經驗 × 嘉義對談

台灣塾發起人 高峰由美

NEIGHBOURHOOD 農企業發起人 田中伸佳

九州鬆餅創辦人 村岡浩司

將才工場執行長 蔡佳旂

高雄市旗美社區大學校長 張正揚

洲南鹽場執行長 蔡晃權

2024.03.20 ㊦ 19:00-21:30

地點 | 嘉義縣創新學院2F大禮堂 嘉義縣太保市祥和二路東段8號

主辦單位：嘉義縣政府、微笑台灣、九州塾×夢想就在
協辦單位：洲南鹽場、將才工場、臺灣咖啡產業策略聯盟

台湾との農業交流・セミナー講師経験多数

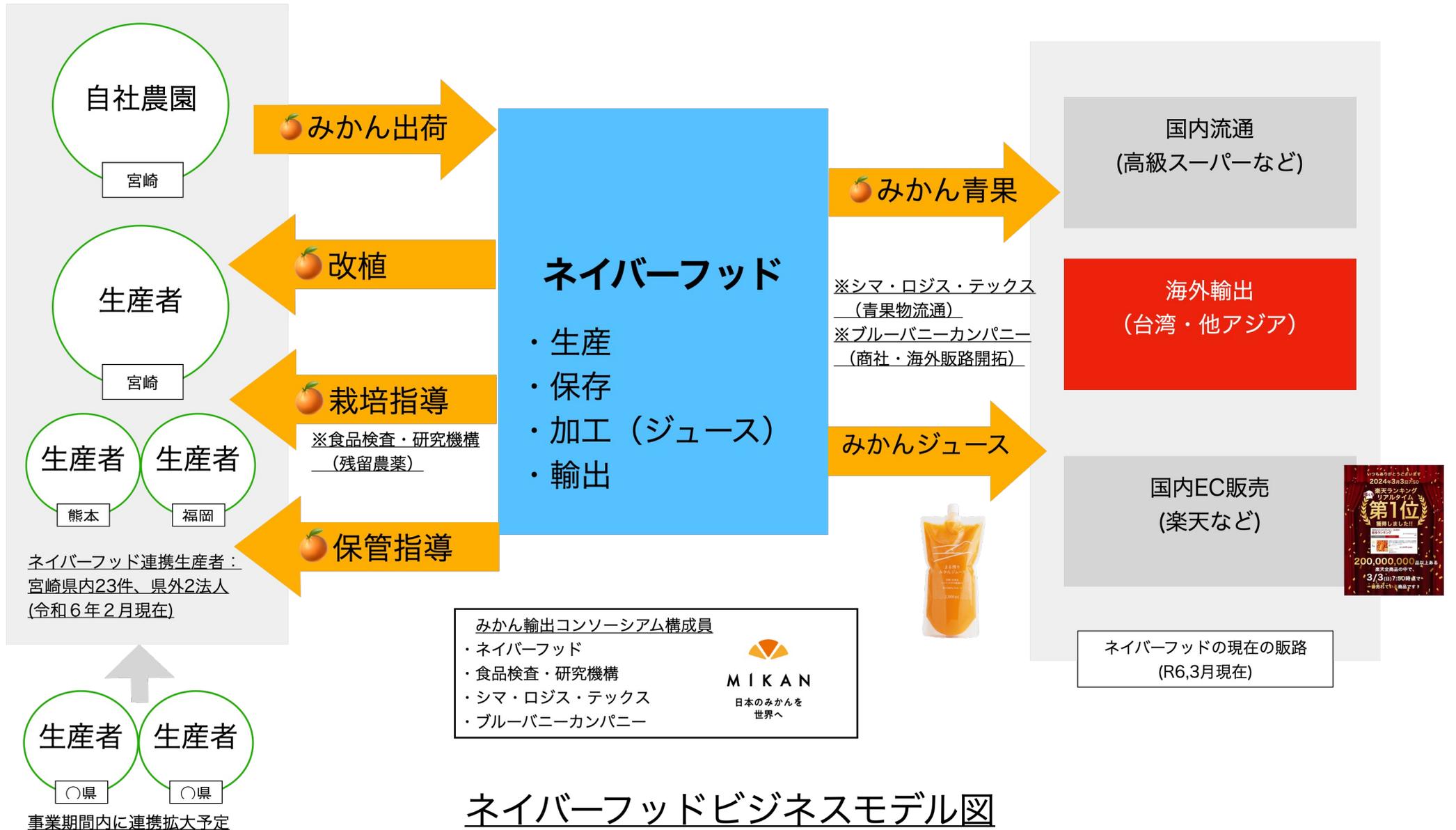
徐重仁氏(蔡英文元總統の政策顧問)

台湾流通の父

元統一グループの会長

(台湾セブンイレブン、ヤマト、スタバ他
50の事業を手掛けた)

ビジネスモデル



ネイバーフッドビジネスモデル図

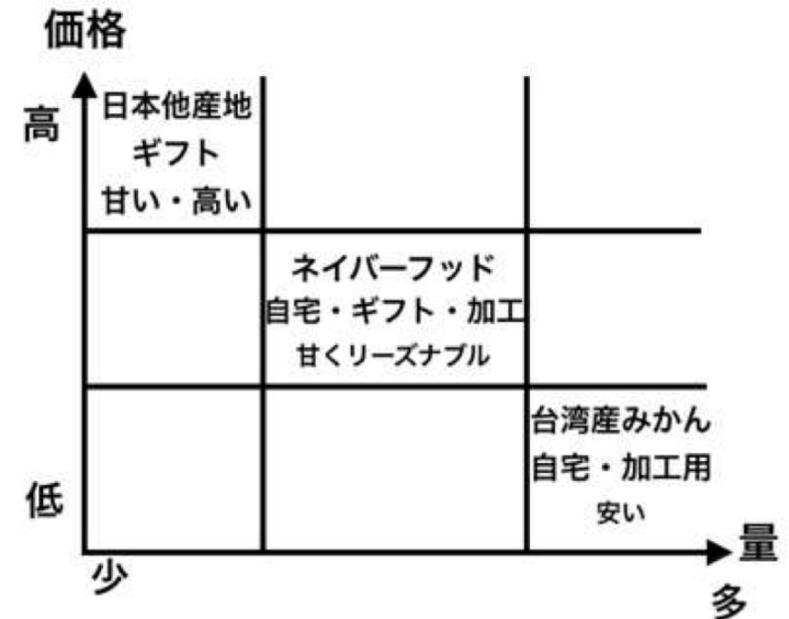
青果物輸出について

青果物の輸出

- 香港・シンガポール：規制無し。日本からの輸出が増え、値崩れ傾向。
台湾： 厳しい残留農薬規制。価格は国内より少し良い。
- 高価格・付加価値型の青果物
春節向けなどに少量でAIR出荷。
- 中価格帯の青果物
コンテナ単位やLCLで船による出荷。
量は出るが到着まで時間がかかり、ロスが増える。

加工品の輸出

- 味の嗜好などが各国で違う。
- かなり高額になる。
- 台湾は輸入規制は年々厳しくなっている。



量がなければ産業にならない。

ネイバーフッドは、高級路線ではなく、中価格帯を狙う。

みかん選果場新設(2021年～)

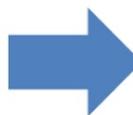
日南共同選果場ができる前 (2020年まで)



8:00 収穫



15:30 家庭選別



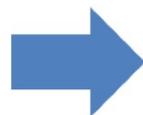
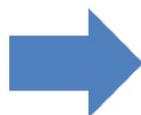
18:30 毎日トラックでみかんを運搬し、
宮崎市の青果市場へ(往復120キロ)。
22:00 帰宅後に翌日の段取り。睡眠時間が削られる。



現在 (2021年以降)



8:00 収穫



15:30 未選別のみかんを、車で5～10分の日南選果場へ持ち込み

自社と他生産者のみかん販路を求め、
台湾への直接輸出開始

みかん選果場新設(2021年～)

日南共同選果場 (2021～)



日南共同選果場の概要
敷地1,600㎡、建物400㎡
1輸出ロット6トンに対し
選果処理能力：8トン/日
オゾン殺菌型長期貯蔵
庫：60トン
光殺菌機: 1台

光殺菌機 (日本に2台)



オゾン殺菌型長期貯蔵庫



AIカメラ付き光センサー



ロスとの戦い



台湾にて、みかんの着荷状況を確認

台湾のバイヤーと協議の様子

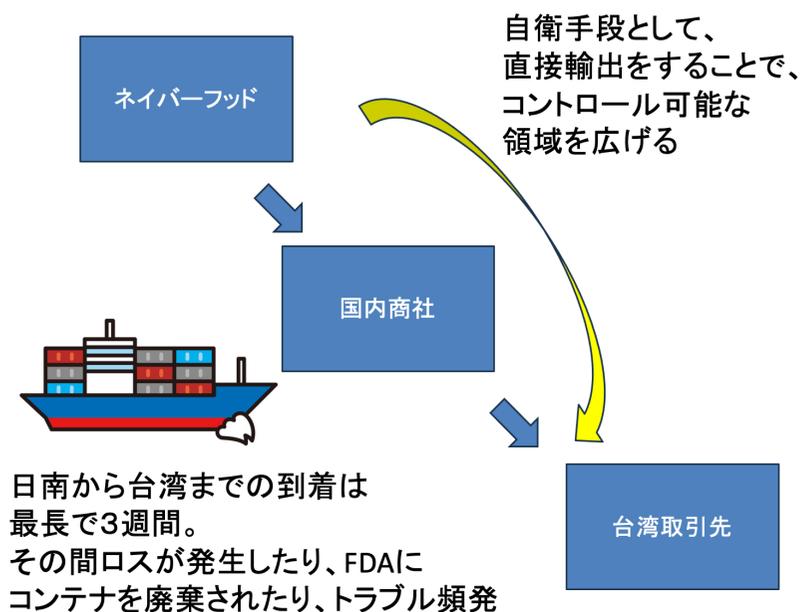
自衛手段としての直接貿易スタート

台湾基準での栽培＝農薬に守られない、傷みやすいみかんを、いかに船で運ぶか



商社経由で輸出し、台湾での傷みが頻発。FDAでコンテナ廃棄され、数百万円弊社が補償した。自衛手段として、直接貿易を開始

年度	輸出量	輸送手段	ロス率
2019年度	0.2t	主に航空便	
2020年度	30t	20ft : 5tx6回 航空便370kg	平均 10%
2021年度	87t	20ftx7回、40ftx6回、航空便500kg、混載5回	平均 15%
2022年度	67t	20ftx4回、40ftx3回、航空便1600kg、混載8回	平均 13%
2023年度	70t	直接貿易4回、20ftx4回、40ftx 3回、航空便	1%



日本→台湾輸出みかんの1/4はネイバーフッドから出荷

ノウハウをシェアし、みんなで強くなる

みかん輸出会議

2024年8月7日

静岡、和歌山、福岡、佐賀、熊本、宮崎の若手先進農家が18名とその他商社、農業関係機関など40名が宮崎に集結。輸出勉強会を開催



生産者として、台湾輸出の経験から得たノウハウを、他の生産者へ共有

- ・生産方法
 - ・収穫
 - ・貯蔵
 - ・選果
 - ・貯蔵
 - ・梱包
 - ・残留農薬検査
- ※バイヤーや商社はレクできない

みかん輸出コンソーシアム

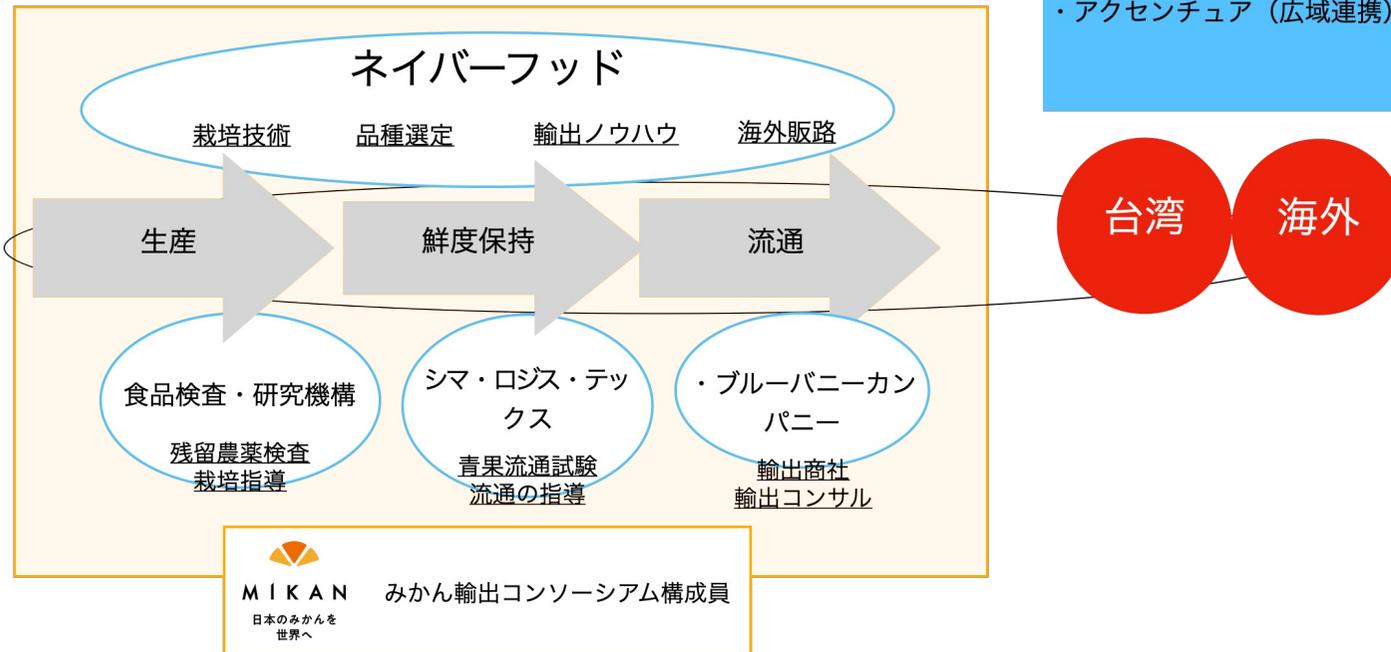


ネイバーフッド連携生産者：宮崎県内23件、県外4法人

それまで組んでいた輸出チームで
輸出コンソを形成

協力

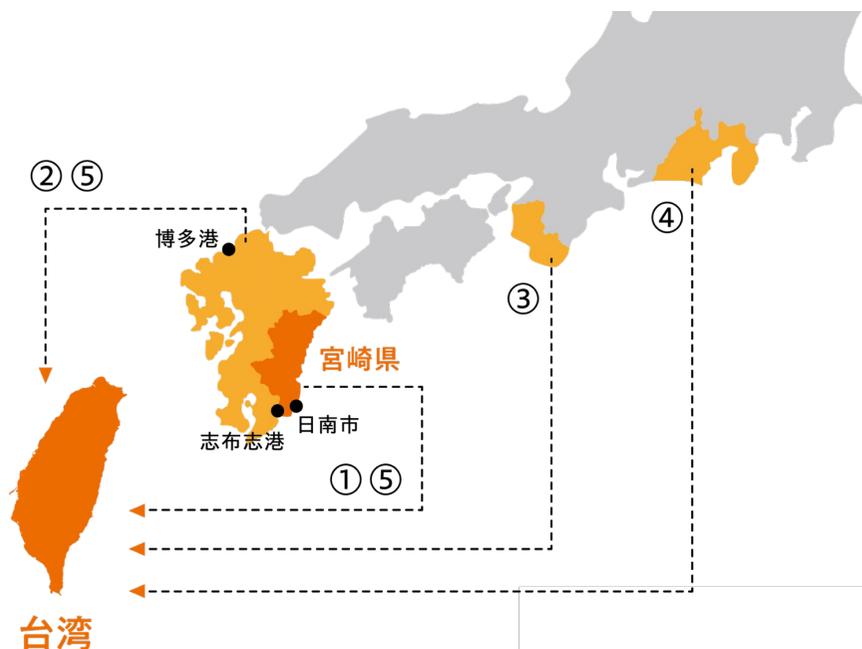
- ・大青工業（鮮度保持指導）
- ・宮崎県（生産・輸出）
- ・アクセンチュア（広域連携）



台湾

海外

みかん輸出産地リレー：宮崎→九州→和歌山→静岡(予定)→佐賀



産地リレーとは

日本列島は長く、生産地によりみかんの旬を迎える時期が異なります。県をまたぐ輸出産地を形成し、一番おいしい時期のみかんをリレー形式で出荷します。

宮崎→九州→和歌山→静岡（予定）→九州ハウスみかんとつなげ、秋から初夏まで期間の長い輸出を目指します。



①～④ 露地栽培 ⑤ハウス栽培

輸出に取り組む優良事業者表彰 受賞



規制のある輸出先への対策会議 首相官邸



まる搾りみかんジュース

まる搾りみかんジュース
1リットル 1,680円(税込)

- ・素材感：みかんそのまま飲んでる感じ
- ・軽く、捨てやすく、保存しやすいプラパック
- ・店頭で映える色



まる搾りみかんジュース

まる搾りみかんジュース
1リットル 1,680円(税込)

2023年 搾汁169トン 9万3000リットル完売
2024年 搾汁190トン 10万5000リットル

2024年秋から、機能性表示食品として販売開始。台湾輸出もスタート



都内ライフ全店・紀伊國屋で販売
楽天市場 全商品中リアタイ1位

